布引だより

令和４年２月８日
No.10

布引小学校ブログもご覧ください→
http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/

～　一人ひとりがキラリ輝く布引の子　～

学校評価に関する保護者の皆様へのアンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたのでお伝えします。

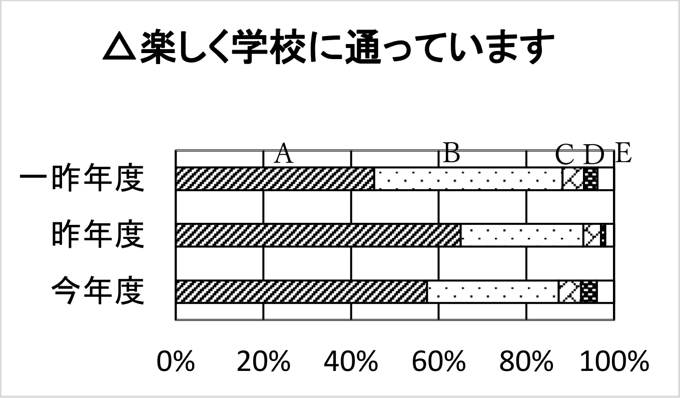
学校として、見直さなければならないことはしっかり反省し、すぐにでも取り組んで成果が出ること、長い目で見て（３年後を目途に）改善や指導を積み重ねなければ結果を出すのが難しいことに分け、協議を行いました。話し合った内容は結果の後ろに掲載しました。

アンケートの集約は、上段：一昨年度、中段：前年度、下段：今年度となっています。
昨年度と比べた変化を〇□△▲に分別化しました。
〇肯定的評価3%以上増加　　△否定的評価3%以上増加　　▲否定的評価5%以上増加
□横ばい

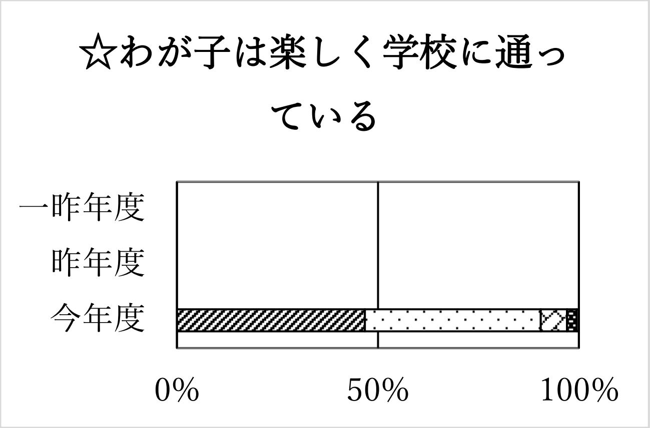
A…そう思う　　B…どちらかといえばそう思う
C…どちらかといえばそう思わない　D…そう思わない
E…無回答

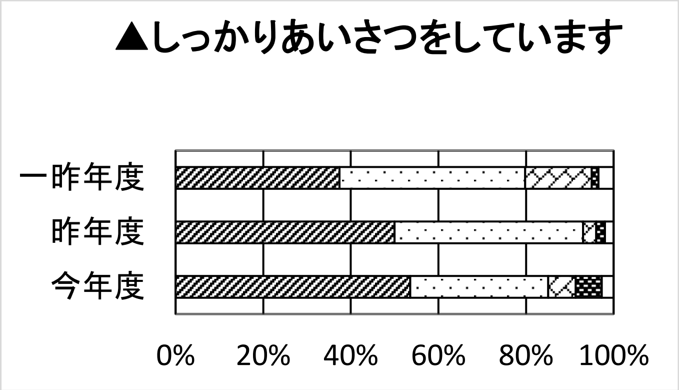
学校生活

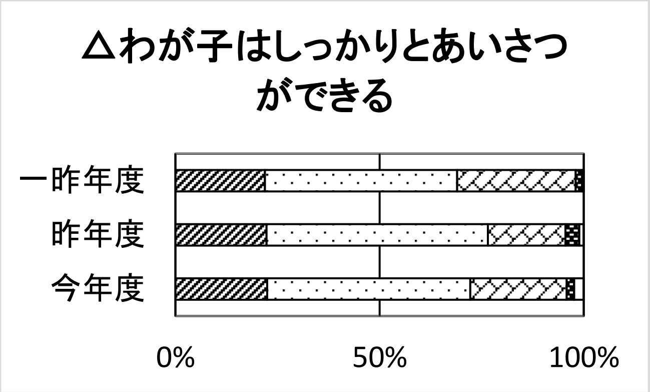
児童

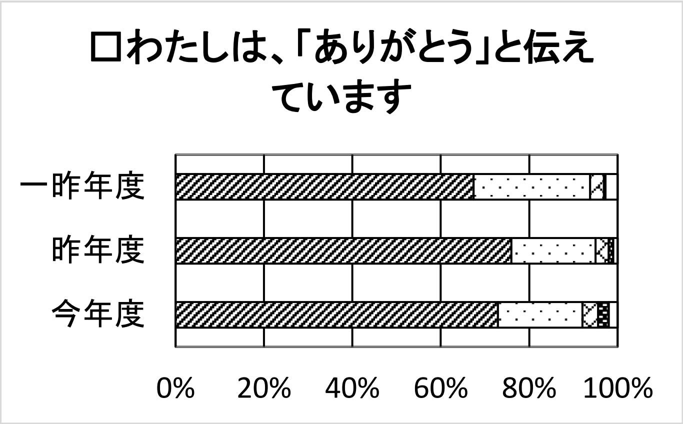


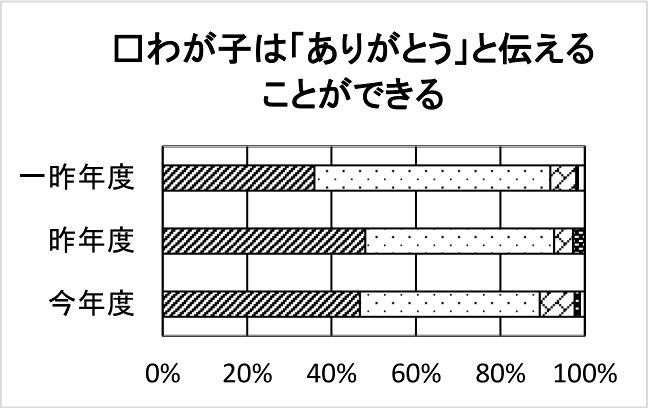
保護者

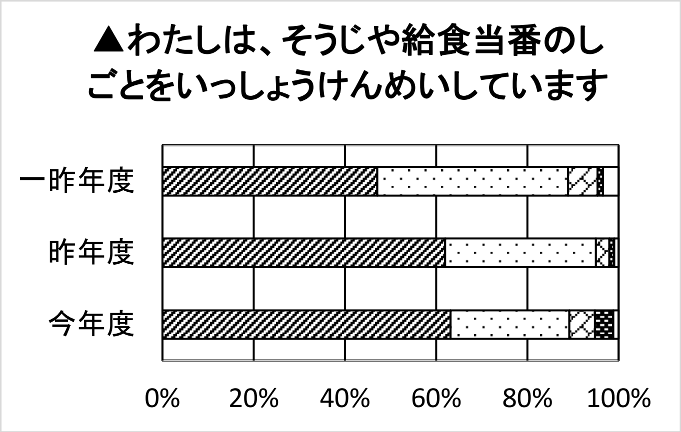


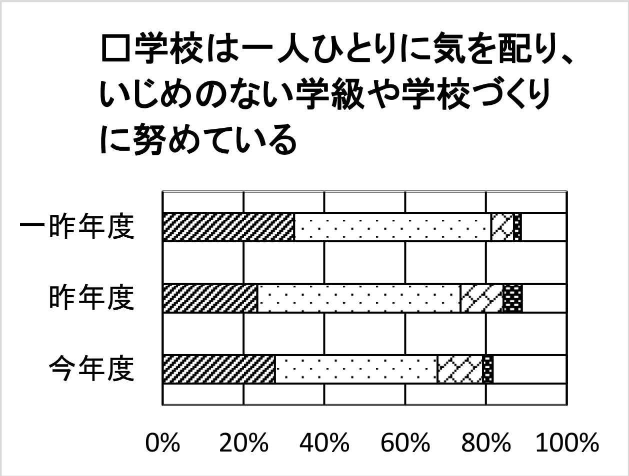


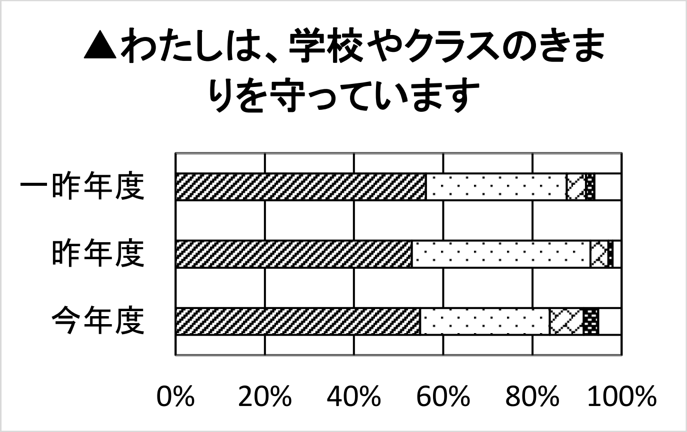


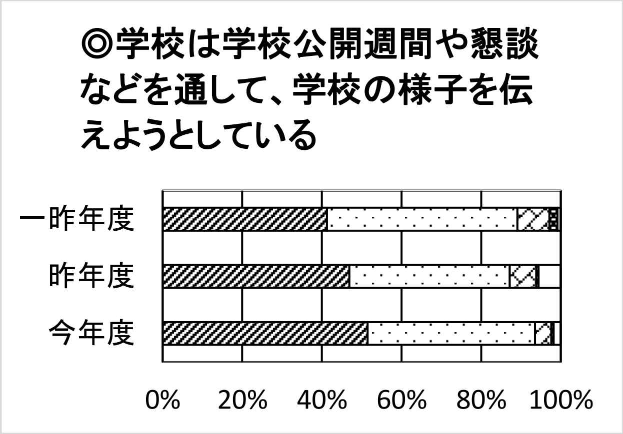

□わたしは、「ありがとう」と伝えています
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%


□わが子は「ありがとう」と伝えることができる
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%

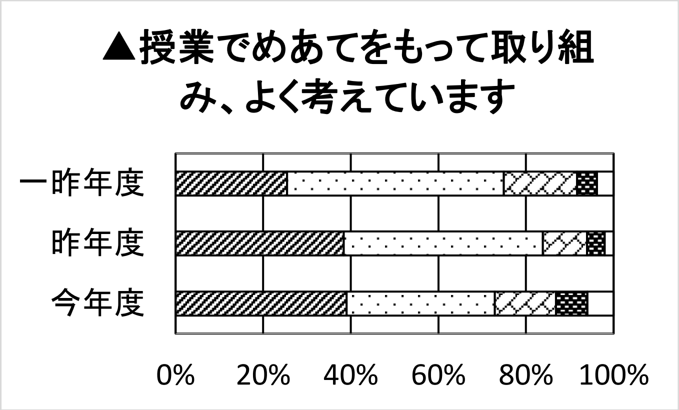

▲わたしは、そうじや給食当番のしごとをいっしょうけんめいしています
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%

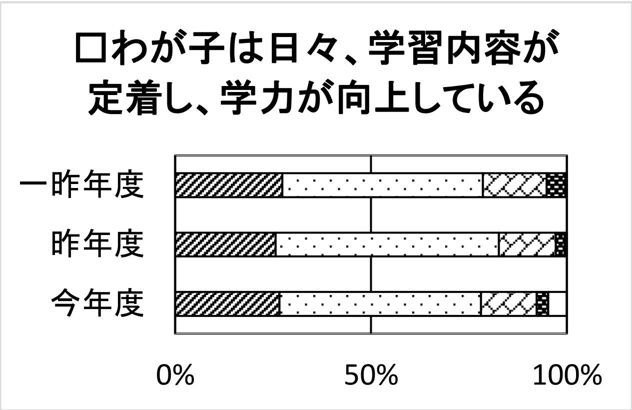

□学校は一人ひとりに気を配り、いじめのない学級や学校づくりに努めている
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%


▲わたしは、学校やクラスのきまりを守っています
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%

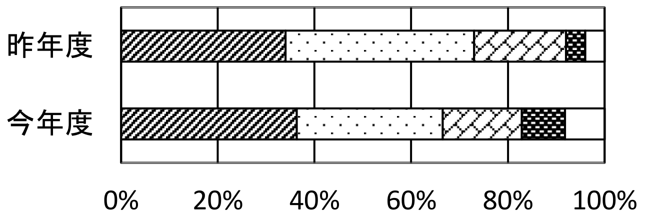

◎学校は学校公開週間や懇談などを通して、学校の様子を伝えようとしている
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%

学習

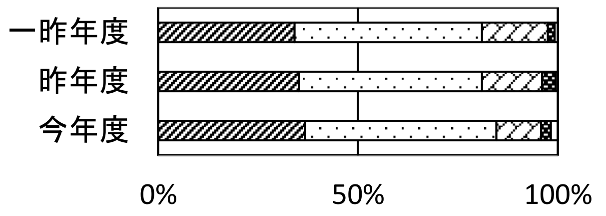

▲授業でめあてをもって取り組み、よく考えています
一昨年度
昨年度
今年度
0%
20%
40%
60%
80%
100%


□わが子は日々、学習内容が定着し、学力が向上している
一昨年度
昨年度
今年度
0%
50%
100%

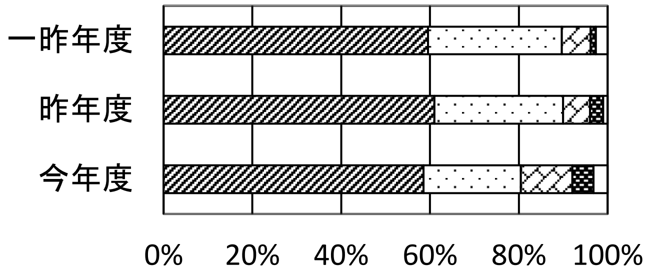
□わからないことやふしぎに思ったことを、聞いたり調べたりしています



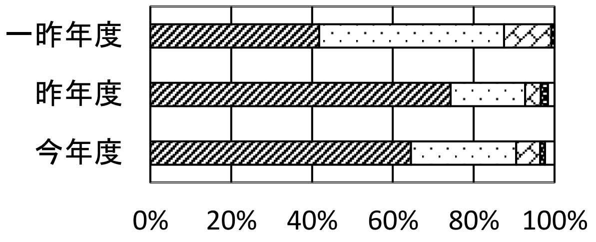
○わが子は、粘り強く取り組み、最後までやり抜こうとしている



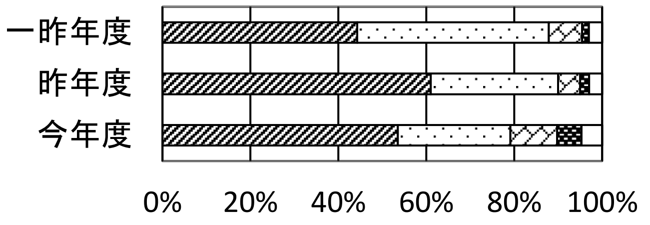
▲係活動やクラブ、委員会活動にがんばって取り組んでいます



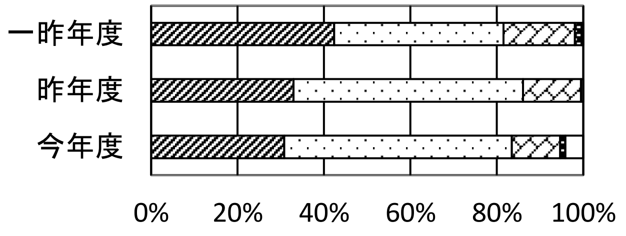
□わが子は、校外学習などの行事やクラブ活動などの特別活動を楽しみにしている



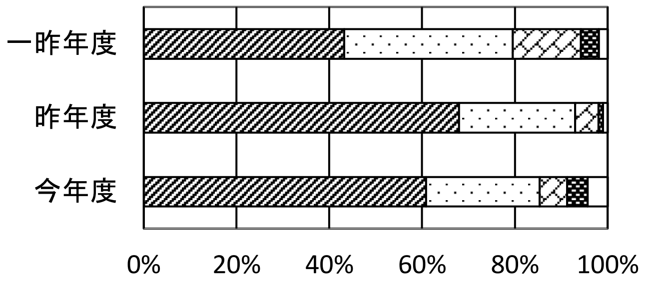
▲わたしは、行事や授業中　とちゅうであきらめないで、最後まで取り組んでいます



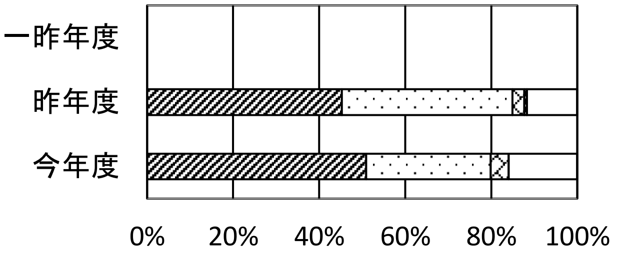
□わが家では宿題や自主学習などの家庭学習に取り組めるよう支援している



△わたしは、朝読書やスキルアップにしっかり取り組んでいます

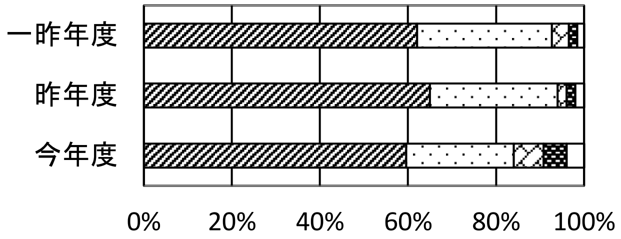


□学校は観劇や地域の名人を招くなど団体・地域人材を教育活動に生かしている

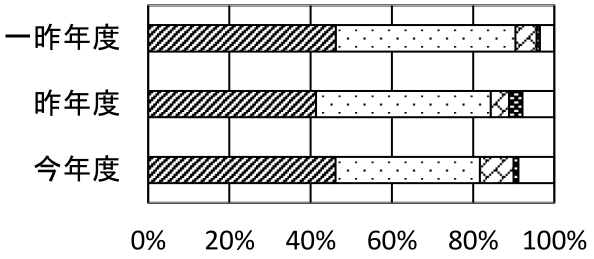


安全等

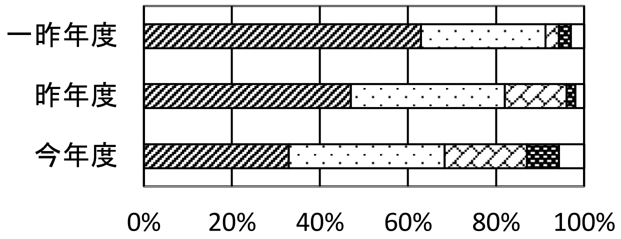
▲わたしは、クラスや学年、全校などみんなで集まったとき、しっかり話を聞いています



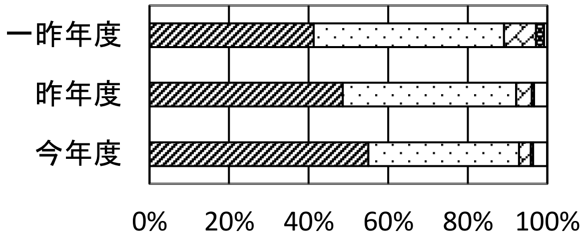
□学校は誠意をもって対応したり、相談に応じたりしている



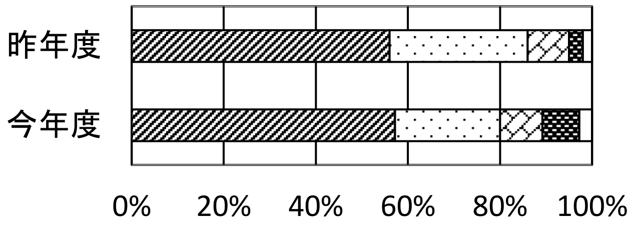
▲わたしは、交通安全に気をつけて、一列にならんで集団登下校をしています



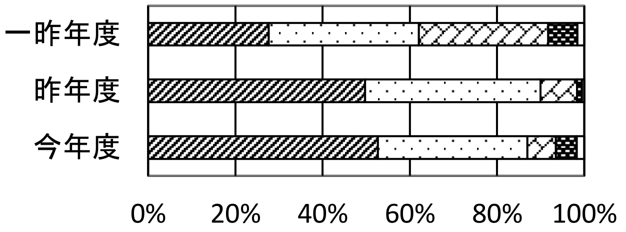
□学校は教育方針や教育計画など「布引だより」や「学年だより」などの通信やHPでわかりやすく伝えようとしている



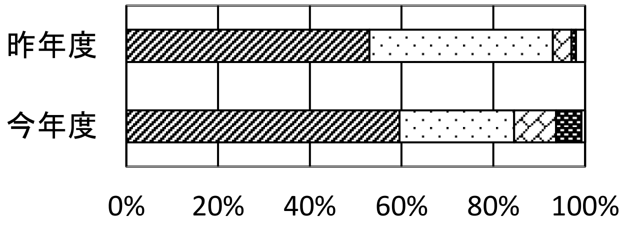
▲わたしは、ノーテレビ・ノーゲームデーにしっかり取り組んでいます



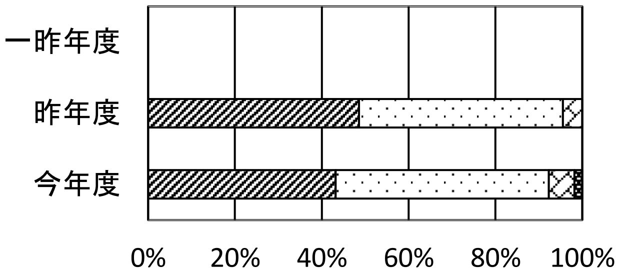
□わが家ではPTA行事やノーテレビノーゲームデーの取組に賛同し、参画している



▲わたしは、「たてわり遊び」や「走ってきたえよう」にしっかり取り組み、体力づくりをしています



△わが家では友だちや学校のことなどをよく話し、子どもとの会話を大切にしている



アンケート結果から

①子どもたちのアンケートではほとんどの項目で、否定的回答が増えた。「A そう思う」が増えているにもかかわらず、B が減り、C が増えることで、肯定的項目の減少になっている項目も多い。

②特に登下校については、年々悪化している。

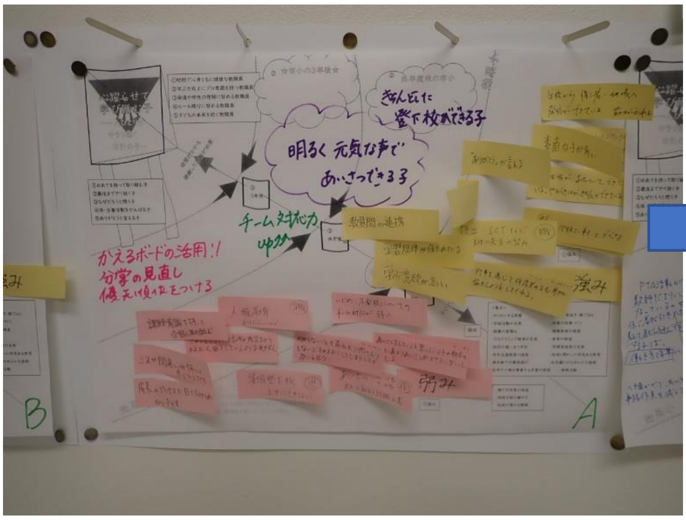
③目標に掲げていた、「学校が楽しい」９５%は達成できなかった。

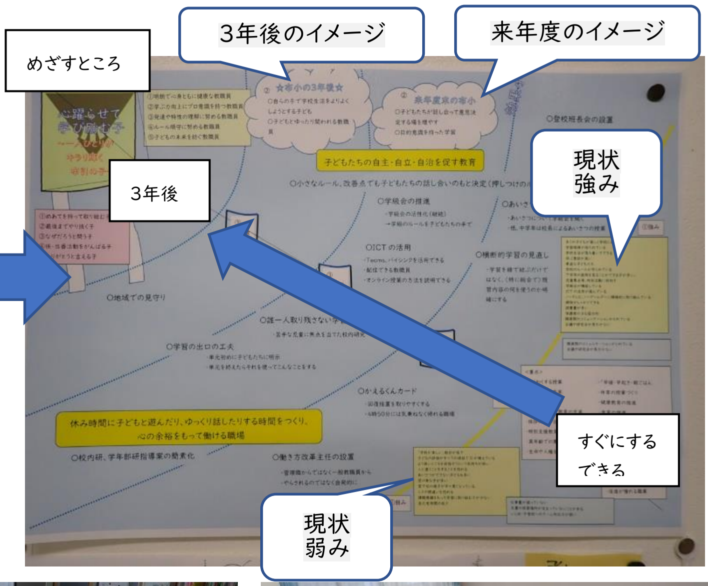
④学校の様子は、ブログなどをとおして多くの保護者の方に知っていただくことができた。

⑤目標の一つである、「あいさつ」については、「A そう思う」が増加した半面、「D そう思わない」児童が増えた。

考察

　アンケート結果や、記述していただいた内容をもとに職員で会議を開きました。３年後の布引小学校のために今から何をしていかなくてはならないか、みんなで頭をしぼりました。下の写真は会議に使ったシートと会議の様子です。





　③については、「楽しい」と答える児童が多いものの、否定的評価をつけた児童が 9.1%の２３～２４人います。「授業にめあてを持っている」「わからないことは調べる」といった質問でも否定的回答が５０～６０人いることから、こういう子どもたちにもっと焦点を当てて学習が楽しくなる工夫をしなくてはならないと考えます。次年度は校内で行う研究も、例えば算数でしたら、「計算が苦手な児童がその学習をどう楽しんでいたか」という観点で進めていきます。

　②の登下校については、子どもたち自身に責任感をもってもらわないと改善されないと考えます。これは学校全体にも言えることです。本校は学級会の取組を全校でしていますので、子どもたちが話し合う場を設け、ルールが学校の押し付けにならないように、ルールを自分たちで決めるように模索していきます。

　③の「あいさつ」は、今年度、２学期後半から下学年にあいさつの大切さを学ぶ授業を行っています。そして、朝、玄関であいさつできた子どもを数えてきました。その成果もあってか、１１月にはあいさつできた児童が平均１４０人くらいだったのが、１月には１７０人ほどに増えました。地道な活動ですが、次年度も続けていきます。学校評価の内容、話し合った内容は学校評議員会で公表し、承認を得ます。